

尾道地域ではイチジク「蓬莱柿」をグリーンな栽培体系へと転換する実証栽培に取り組んでいます

※「グリーンな栽培体系」とは、農林水産省が推進している「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた栽培体系のことです

尾道地域のイチジク産地が抱える3つの課題

課題1 イチジク株枯病



農薬を用いない防除法が欲しい

課題2 危険で大変な収穫作業



収穫作業の省力化をしたい

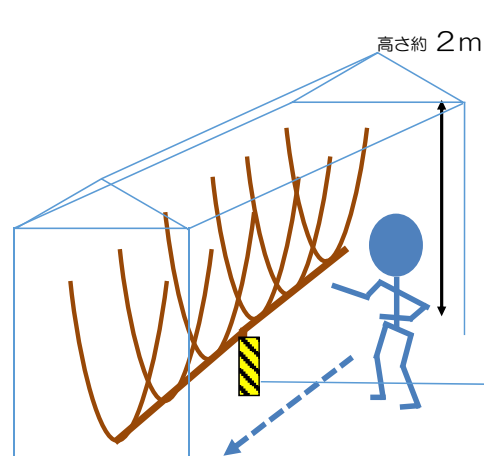
課題3 降雨によるロス



通常の収穫果実（1）、雨天時の収穫果実（2）
雨害で出荷できない果実の山（3）、被害が拡大した果実（4）

雨除けをして収量を増加させたい

3つの課題を一挙に解決できる栽培体系を実証中



実証3 簡易雨除け栽培による収穫ロス率を低減

実証2 一文字樹形を導入し収穫作業の省力化

実証1 抵抗性台木による株枯病の農薬使用回数削減

ご興味のある方はお問い合わせください

尾道果樹産地協議会（事務局）JA尾道市営農販売課 電話番号 0848-20-2811

R6年度 暫定版 パンフレット 令和7年3月作成